



寄付した古着のゆくへ



上田染谷丘高等学校 1年 田中麻結



10 人や国の不平等
をなくそう



12 つくる責任
つかう責任



このテーマを選んだ理由

ユニクロやGUに行ったときに、古着回収ボックスを見かけたことがあり、古着を回収し、外国へ寄付をしている団体に興味を持ったところ、全ての団体が本当に古着を必要としている人々へ行き届けているのか気になったから。



古着などを集め、必要な人々に届けている日本救援衣料センターの 国別寄贈実績一覧

タンザニア	31	2160.0トン	・	タイ	55	1518.8トン
ウガンダ	32	2111.0トン	・	ラオス	70	1513.0トン
チャド	11	1253.0トン	・	ペルー	52	1008.4トン
ガーナ	48	876.3トン	・	モンゴル	88	947.0トン
コンゴ民主共和国	40	874.2トン	・	ミャンマー	19	794.0トン
モーリタニア	6	602.0トン	・	アフガニスタン	31	702.0トン
マラウイ	14	552.0トン	・	シリア	6	508.0トン
ルワンダ	6	521.0トン	・	中国	19	436.0トン
ザンビア	16	490.0トン	・	カンボジア	26	409.0トン
南スーダン	4	437.0トン	・	フィリピン	15	389.0トン
アルジェリア	7	365.5トン	・	インド	23	336.0トン
ケニア	10	272.0トン	・	ヨルダン	8	223.0トン
リベリア	5	253.0トン	・	イエメン	15	198.0トン
エチオピア	19	228.6トン	・	バングラデシュ	11	192.0トン
ブルキナファソ	6	213.0トン	・	ブラジル	11	170.0トン
中央アフリカ	4	196.0トン	・	スリランカ	12	163.0トン
ジンバブエ	9	140.5トン	・	ネパール	13	147.0トン
アンゴラ	8	136.0トン	・	キルギス	5	128.0トン
カメルーン	2	134.0トン	・	香港	2	103.0トン
ニジェール	2	98.0トン	・	ベトナム	10	94.0トン
ソマリア	2	95.0トン	・	コロンビア	7	85.0トン
ボツワナ	6	86.0トン	・	パキスタン	4	70.0トン
モザンビーク	6	82.5トン	・	シンガポール	3	70.0トン
ブルンジ	2	74.0トン	・	インドネシア	3	64.0トン
コートジボワール	1	66.0トン	・	バブアニューギニア	6	54.0トン
ナミビア	5	64.0トン	・	ロシア	5	54.0トン
スーダン	3	36.0トン	・	パラグアイ	11	47.0トン

チュニジア	1	30.0トン	・	ボリビア	1	47.0トン
南アフリカ	2	27.0トン	・	東ティモール	4	43.0トン
トーゴ	1	27.0トン	・	ソロモン諸島	7	39.0トン
ギニア	3	25.0トン	・	イラク	6	38.7トン
ジブチ	2	20.0トン	・	ジョージア (ゲルジア)	1	37.0トン
エリトリア	1	12.0トン	・	イラン	3	31.5トン
セネガル	1	10.0トン	・	キプロス	1	31.0トン
シエラレオネ	1	10.0トン	・	コンゴ	2	26.0トン
ナイジェリア	2	8.0トン	・	セルビア	2	25.0トン
モロッコ	1	1.0トン	・	タジキスタン	2	23.0トン
スワジランド	1	1.0トン	・	クロアチア	2	23.0トン
				アルゼンチン	2	23.0トン
				北朝鮮	1	21.0トン
				ウズベキスタン	2	20.0トン
				レバノン	7	18.0トン
				フィジー	2	16.0トン
				ハイチ	1	16.0トン
				トルコ	1	13.0トン
				チリ	1	12.0トン
				ベラルーシ	1	12.0トン
				ウルグアイ	1	11.0トン
				マレーシア	2	10.0トン
				カザフスタン	1	8.0トン
				台湾	1	8.0トン
				ポーランド (ウクライナ難民)	1	6.0トン
				パラオ	1	5.0トン
合計 38ヶ国	321回	12,587.6 トン		合計 53ヶ国	586回	10,986.4 トン
		総合計：91ヶ国	907回	23,574.0トン		



このグラフを見ると、様々な国に寄付をしていることがわかる。だが、「古着 寄付 国」などと調べると、アフリカについてのサイトが たくさん出てきたため、アフリカは今の様な状況なのかさらに詳しく調べてみた。

私は今まで、古着を寄付することは誰かのためになることだと 思っていた。だが、調べてみると私の想像とは全く違うものだった。寄付している古着は、かえってマイナスになってしまっていることがあるのだ。

私達が寄付している古着が起こしてしまっている問題は主に2つある。



大量廃棄によるゴミ・環境問題

古着の一部は難民キャンプの物資としてリサイクルされているが、 寄付された古着の多くは現地のマーケットに並ぶ商品となる。 だが、品質の良くないものは売れず、ゴミとなってしまう、 捨てられてしまう。また、発展途上国ではゴミ処理場などの施設は十分でないため、それらの古着を処理しきれない。 結果的に古着の大量廃棄が原因で環境・海洋汚染が問題となっている。



アパレル産業の衰退と雇用の減少

アフリカでは、世界中から集まる品質の良い古着が安く手に入るため、現地に購入されている衣類の大半は古着だと言われている。 その結果、アフリカにおける繊維産業の成長の機会が失われ、さらに衰退していくことになってしまった。それに伴い、繊維産業の雇用も減少している。



私の提言

このように、古着を寄付してもこの様なことがあると寄付をする意味、利点がないと思う人もいるとおもう。だが、実際に古着を必要としている人もたくさんいる。そこで私が提言したいことは、

★ 私達がしっかりと寄付する団体を見極め、その団体がどの様な人々に古着を届けているか知ることが寄付する前に実行すること。

★ ビジネス重視で古着を集めているのではなく、誰かのためになりたいと必死に活動をしている団体に寄付をする。

これらのことから、正しく古着を寄付することは、私達や相手の笑顔にもつながり、未来の環境を守ることにもつながると、私は考える。

参考文献

https://www.jrcc.or.jp/catalog_b6.html

<https://nippon47.co.jp/column/古着の最終集積地アフリカが抱える問題とは？>